

県民の皆さんの取組状況

順不同

取組団体名	取組事例
BPW クラブ和歌山	<ul style="list-style-type: none"> ★イコール・ペイ・ディ広報活動(4月6日)(8名) 街頭啓発(JR駅前) 関係機関へのアピール訪問(和歌山県庁等) ★第9回日本BPW連合会総会・札幌大会参加(5月26日、27日)(3名) 基調講演 「ダイバーシティ アイヌ民族と北海道、そして未来へ」 講師：本田優子さん(札幌大学教授・アイヌ文化研究者) ★BPW連合会60周年記念事業に参加(9月30日)(6名+4名) ★近畿ブロック研究会・《ヤングスピーチコンテスト》 (11月3日)(8名+4名) ★例会(毎月第3土曜日 13:30~15:00) <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度総会(5月19日)(10名) 記念講演「わかやま mineの現状とこれから」 講師：奥田美和子さん(和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 女性相談課主任) ・卓話「食育のまち紀の川市宣言に至るまで～啓発普及・推進」他 講師：三國和美さん(紀の川市食育推進会議会長・栄養士グループNA GA会長、和歌山県立農林大学校非常勤講師、和歌山クラブ会 員)(6月16日)(4名) ・学習会「認定NPO法人になって」(7月14日)(8名) 講師：藤田ひろみさん(BPW連合会財務委員長) ・卓話「農業分野での女性の現状・家族農業での働き方改革」 講師：野尻久江さん(和歌山県農業士会連絡協議会女性部会長、 和歌山クラブ会員)(8月18日)(8名) ・10月例会(9月15日)(6名) 11月人権フェスタ参加企画について ・連合和歌山女性委員会メンバーとの意見交換会 「テーマ：働く女性が抱える課題」(10月15日)(10名+8名) ・人権フェスタへの参加(11月24日)(5名) ブース出展し、EPDについて周知を図る ・3月例会 4月のEPDについて打ち合わせ(12月15日)(4名) ・新年会&事業検討 第二富士ホテルにて(1月19日)(9名) ・3月例会(オープン講座)の打ち合わせ(2月16日)(3名) ・オープン講座(3月16日)(8名+6名) 「それ、ハラスメント！」～あらためて考えてみる、ハラスメント～ 講師：小原智津さん(日本BPW連合会副理事長、和歌山クラブ 副会長)
GEはしもとサピュイエ	<ul style="list-style-type: none"> ★月1回の例会にて打ち合わせと研修を行う ★橋本市「まなびの日」出展(11月25日) ブースにてパープルリボン(女性への暴力防止)啓発を行う <ul style="list-style-type: none"> ・パープルリボンツリーを参加者に飾ってもらう ・ジェンダーチェックアンケート ・中高生による男女共同参画ポスター入賞作品展示 ・ジェンダーをテーマにした絵本展示 ★デートDV防止授業 橋本市立橋本中央中学校3年生を対象に、1クラス毎にデートDV防 止授業を行う

取組団体名	取組事例
GEはしもとサピュイエ (つづき)	<p>そのための中学校との打ち合わせや練習を行う</p> <p>★その他の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県 DV 被害者支援ネットワーク会議及び研修会 ・和歌山県男女共同参画センター「りいぶる」20周年記念行事 ・橋本市社会教育団体交流会 ・性暴力被害者支援ボランティア養成講座 ・男女共同参画エキスパンダー養成講座
HML (ハッピーママライフ)	<p>★御坊市教育委員会「子どもへの暴力防止」委託事業実施 御坊市内の小学生・保護者にCAPワークショップを実施</p> <p>★日高川町、有田市、和歌山市内の小学校にて小学生・保護者にCAPワークショップを実施 (平成30年度CAPワークショップ参加者数350名)</p> <p>★児童虐待防止月間に啓発を兼ねたキフパンの販売 紀の川市パン・ド・パニエ協力</p> <p>★御坊市内にてチーム紀伊水道と交流会を開催 勉強会では中学生とDVDを鑑賞し、性的マイノリティへの理解を深めた</p>
ITO☆WINN	<p>★かつらぎ町WHP(かつらぎ町の女性による人権と平和を考える会)に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議及び研修会：理事会は代表参加 研修会(「ウインナック株式会社」視察)は理事参加 <p>★色彩心理カラーセラピー&コミュニケーションカウンセリング パーソナルカラーでメイクアップ診断 講師：尾高りほさん</p> <p>★他団体交流としてイコール会議紀北ブロック会議参加 災害時のサバイバルクッキング 講師：三国かずみさん</p> <p>★笠田公民館サークル発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画和歌、童謡などを展示(10月24日～28日) <p>★和歌山県男女共同参画審議会へ委員として参加(会員)</p> <p>★総会・定例会(月1回 第4木曜日)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報及び旬の出来事、それぞれ参加の講演会、研修などについて討論する <p>ミニ講座：「#MeToo」「Withyou」朝日社説セクハラ 傷つけられて沈黙しているあなたへ</p> <p>ミニ学習：昔の先生時代の小学校事情と昨今の小学校について</p> <p>ミニ講座：LGBTとは…杉田水脈議員 生産性がない 待機児童</p> <p>ミニ学習：WHP総会報告…児童虐待の現状 かつらぎ町児童相談員松本肇さん</p> <p>ミニ講座：養成講座 市場恵子さん 参加者より報告 デートDV ワークライフバランス</p> <p>ミニ講座：夫源病 死刑制度 赤坂自民党 西日本豪雨など</p> <p>ミニ学習：DVについて 船戸結愛ちゃん事件</p> <p>ミニ学習：DVサポート養成講座を受講しての報告 面接技法を学ぶジェンダーの視点で DVについて・女性の貧困・性暴力・自尊感情</p> <p>ミニ学習：ヘルプカード ヘルプマークについて 橋本市命の授業など</p> <p>※会としてレジュメ、議事録毎回発行(全員で情報共有)</p>
JA和歌山中央会	<p>★JA女性役員研修会の開催(8月、1泊2日) 参加者：JA女性役員29名</p>

取組団体名	取組事例
<p>JA和歌山中央会 (つづき)</p>	<p>内 容：実践報告、講義、意見交換</p> <p>★県女性会と中央会・連合会役員との対話集会の開催(12月) 参加者：女性会役員他</p> <p>内 容：女性会活動、JA事業他</p> <p>★JA運営等についての学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県JA女性組織連絡会議において毎回開催(年5回程度) ・JAにおける学習会開催促進 <p>★JAへの女性参画促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の運営参画県域指標にもとづく参画促進 <p>正組合員加入：50% 総代への就任：30% 理事への登用：15%</p>
<p>ウィメンズスペース 花</p>	<p>★月2回定例会、学習会を開催 DV、性暴力、ジェンダーの問題について</p> <p>★和歌山県DV被害者支援ネットワーク会議に出席</p> <p>★性暴力等に関する講座に参加</p>
<p>ウィメンスタディズ熊野</p>	<p>★活動内容(活動の本拠地：新宮市)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①DV被害者支援：電話及び面談、同行支援 ②児童虐待等の家庭支援：電話及び面談、同行支援 ③DV、デートDV、人権講座の講師派遣：事業所、小学生・高校生・保護者会等 ④会員及び関係者の勉強会(月一回)、スーパーバイズ(年一回)、研修：随時 ⑤県及び市の街頭啓発への協力 ⑥関係機関とのネットワーク <p>★DV被害者支援のために、まずはDVとは何か?を知ることが大切という思いから、小学生・高校生へのデートDV防止授業「リスペクト・アザーズ」及び小学校保護者へのDV防止人権講座を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣校 神倉小学校5・6年生、新翔高校2年生 太田小学校保護者、高田小学校保護者
<p>つばさの会・和歌山</p>	<p>★講演会「終活とジェンダー構造」開催(11月11日) 講師に源淳子氏(関西大学人権問題研究室委嘱研究員、世界人権問題研究センター客員研究員)をお招きし、講演会を開催しました。(場所は田辺市民総合センター)</p> <p>具体的な「終活」のあり方・やり方を導入に、(家族制度等との関わりで)そこに潜むジェンダー構造について約90分の講演の後、数名のグループに別れグループディスカッションも実施しました。</p> <p>参加者約35名(本会会員、一般参加者の合計)</p> <p>★和歌山ビッグホエールで開催された『ふれあい人権フェスタ』に出展し、本会の取り組みを紹介するパネル展示などを実施しました。(11月24日)</p> <p>★コンソーシアム和歌山「わかやま学」講座の一環として実施された討論会『子ども食堂は地域に何を残すか』に、本会の代表がパネラーの一人として登壇しました。</p> <p>『なるコミ』(和歌山市鳴神 宇都宮病院内) を会場として実施され、新家貢氏(中の島子ども食堂)、阪田由美子氏(和歌山信愛女子短期大学子育て支援員研修担当)、家本幸氏(cafe55 子ども食堂)、手平康介氏(JA 子ども広場)、宇都宮越子氏(鳴神こども食堂)が参加されていました。</p> <p>子ども食堂を取り巻く現状や、それらの取り組みをいかに地域コミュニ</p>

取組団体名	取組事例
つばさの会・和歌山 (つづき)	<p>ティの中で継続していくかといったテーマなど、様々な視点から活発な議論が展開されていました。 参加者約 50 名 (12 月 15 日)</p>
和歌山イコール会議	<p>★和歌山イコール会議第6期 (H30.10～R1.9) 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県 JA ビルで開催。会員 43 名出席(11 月 11 日) ・第 5 期事業・決算報告、第 6 期全体事業計画及び部会活動計画・予算計画を承認。 <p>★総会記念事業 (講演会ほか) (一般参加可) (11 月 11 日)</p> <p>いいこといっぱい!! 魅力がいっぱい!! 「男の子育てのヒミツ？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 部 講演「少子化の現状と男性の家事・育児参画について」 講師 手島誠さん(内閣府子ども子育て本部参事官補佐く少子化対策担当) ・第 2 部 基調講演「子どもの遊びから考える男の子育て」 講師 松田恵示さん(東京学芸大学副学長・教授) ・第 3 部 トーク&トーク「男の子育てのヒミツ？」 コーディネーター 松田恵示さん パネリスト 木下幾晴さん(南和歌山医療センター医師) 三木保人さん(三木理研工業株式会社取締役) 宮崎久さん(和歌山市子ども未来部部長) <p>総会に続いて開催、会員他総勢 139 人が参加。松田講師の講演から「大人も楽しむ子育て」など遊びを取り入れる子育てを学んだ。また、トーク&トークでは 3 人の男性の子育ての本音をお聞きする中、会場からの声を多数いただくなど充実した内容となった。</p> <p>★部会・ブロック会議</p> <p>①地域づくり部会 男女共同参画による住みやすい地域をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015 年に県内 1,200 人に実施した「地域課題についてのアンケート調査」結果から抽出された 3 つの柱に沿った活動の 1 つとして、地域を知ろうシリーズ 4 「紀の川市に行こう！」を開催、青洲の里・龍之渡井・小田井用水ほかを訪ねた。(一般参加可) ・アサーティブ講座「おつきあい “カ” “UP しませんか!”」を開催、思いや考えをきちんと相手に伝え、気持ちを通じる地域コミュニケーションなどを学んだ。(一般参加可) ・災害に強い地域づくりをめざし、防災部会、防災 PT と連携し活動した。 <p>②防災部会 災害時や復興時における男女共同参画による取組が進むことをめざし活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害と女性の問題を考えるきっかけづくりや災害時の県内女性ネットワーク構築にむけて、第 4 回目となる「和歌山イコール会議防災セミナー in 串本」(3 部構成、一般参加可)を、子育て支援グループ NPO 法人「あったカフェ」さんと共催し、串本町後援のもとで開催した。 一時保育付き事業としたことで若いご夫婦の参加も多く、総勢 50 名を超える実施となった。 第 1 部「紀伊半島大水害 体験紙芝居」 ～失ってはじめてわかる 命の大切さ早めの非難 犠牲者をめざすために～ 講師：久保栄子さん(防災士/那智勝浦町在住) 第 2 部「マイ・トイレを作ってみよう！」 ※新聞紙とポリ袋などで簡単に作る携帯トイレ 講師：市場 美佐子(防災士/イコール会議防災部会長) 山下 真理(防災士/イコール会議防災部会員)

取組団体名	取組事例
<p>和歌山イコール会議 (つづき)</p>	<p>第3部「災害時のサバイバルクッキング 体験&試食」 講師：三國 和美(栄養士グループNAGA会長/イコール会議地域づくり部会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム「復興・防災と女性の活動」(大阪府ドーンセンター)に参加した。 ・「防災の日セミナー」(9/1、宇都宮病院なるコミ)で、マイトイづくりをアピールした。 ・地域自治会の要請で「阪東地区防災セミナー」(講師：市場美佐子、山下真理)を実施した。 ・海南市危機管理課の要請を受け「海南市防災士研修会～災害時の調理体験～」(講師：岩井千代香/栄養士・防災部会員)を実施した。 <p>③働き方部会 男女共同参画のもとに女性が活躍できる社会・職場をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おせっかいシリーズの第3作目となる働く女性応援リーフレット『仕事と子育てどちらも大切にしたい(保活編)』を制作し、関係先に配布した。子供を預けて仕事に出る準備を始めるためのアドバイス集として、県子ども未来課の協力をいただきながら作成、幼稚園・保育園・こども園の特徴、受けられるサービス、困ったときの相談先など、「一人で悩まないで仕事との両立を目指してほしい」と作成した。 ・イコール会議次期(第7期)総会記念事業の企画運営を担当、事業概要案を作成した。 <p>④子育て・介護環境部会 女性が専ら担うことが多い子育てや介護での男女共同参画をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く女性応援リーフレット(保活編)の制作に協力、また、第2作目(介護編)と併せて働き方部会と連携しリーフレットの配布活動に取り組んだ。 ・第6期総会記念事業(いいこといっぱい!! 魅力がいっぱい!!「男の子育てのヒミツ?」)を企画し、一時保育付き事業とするなど当日の運営も行った。 ・「輝く有田市未来講演会(有田市主催、講師：大日向正美さん/恵泉女子学園大学長)」に参加、子育てを取り巻く最新の状況や課題を学ぶ機会となった。 <p>⑤暴力防止部会 女性に対する暴力の根絶をめざして活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権フェスタ2018(和歌山ビッグホエール)に出展、DV防止ブースを運営、女性へのあらゆる暴力の根絶を訴える「パープルリボン」を活用し、「降り続く暴力の雨が止みますように」という願いを込めた傘をつくるなど、DVやデートDV防止活動のためオリジナル啓発グッズによる活動等を展開した。来場者参加型としたことから大勢のご来場をいただき、パープルリボンで埋め尽くす3本の傘が完成した。 <p>⑥多様な生き方応援部会 多様な生き方や活躍を知り学ぶことによる女性のエンパワメントをめざし活動した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍する女性のお話をお聞きしたり、特色ある場所などを訪ねたりする2回にわたるフィールドワークを行い、様々な生き方、地域の実情や課題を学ぶ貴重な機会となった。 <ol style="list-style-type: none"> 1 会員が経営する「カフェじょんのび」(有田川町)を訪ねた。地域の方々の憩いの場として開放、様々な教室を開催し仲間と地域活性化に取り組む会員のお話をお聞きした。 2 紀南フィールドワーク(白浜町、上富田町)を実施した。「紀州博物館」を訪ね、白浜町の活性化に取り組む玉田伝一朗さんから町の歴史や知られざる白浜を学ぶ貴重な時間となった。また、熊野高校

取組団体名	取組事例
和歌山イコール会議 (つづき)	<p>を訪問、「地域協働型サービスラーニング」についてお聞きし、高校生が高齢者宅を訪問するなど地域に根付きつつある取組について学んだ。さらに、田辺市消防署を訪問し、女性消防士3名のお話をお聞きするなど、今回もそれぞれの多様な生き方に圧倒される訪問となった。</p> <p>⑦地域ブロック会議 地域ごとの課題解決を目指して活動した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“りいびる”を中心に毎回、和歌山市内で開催される各部会は、遠方からの出席が大変なことから、第5期から会員の住居地で4ブロック（和歌山、紀北、紀中、紀南）に分かれて、地元で話し合う「地域ブロック会議」を開催している。 <p>〈各ブロック会議の会場〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山ブロック：県男女共同参画センター 紀北ブロック：紀の川市役所 紀中ブロック：有田川町交流センター 紀南ブロック：田辺市男女共同参画センター <p>〈活動トピックス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀北ブロックでは、災害時の調理体験会（笠田公民館、講師：三國和美さん）を実施、災害時の「食」の問題を考え、日頃の備えの重要性などを学ぶ機会となった。 ・紀中ブロックでは、「ガイアシンフォニー（地球交響曲）第8番チャリティー上映会」（有田市民会館）を実施、収益金は県社会福祉協議会に寄付した。 ・紀南ブロックでは、東京大学入学式での上野千鶴子さんの祝辞の内容や、加害者無罪が続く性暴力問題に抗議し性暴力の無い社会の実現をめざす「フラワーデモ」について、意見交換をした。 <p>★その他（参加等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県男女共同参画特別公開セミナー（講師：大竹 文雄さん/大阪大学経済学部教授） ・女性活躍トップセミナー（講師：内永 ゆか子さん/NPO 法人J-Win 理事長） ・県行政報告会（和歌山県JAビル） ・和歌山市女性活躍推進講演会「女性が輝くまち」（講師 安藤 哲也さん/NPO 法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー 代表理事） ・和歌山労働局雇用環境セミナー（ビッグ愛） ・“りいびる”20周年事業 交流会と講演会（講師：瀬地山 角さん/東京大学大学院教授）
一般社団法人 和歌山県農業会議	<p>★女性農業委員・農地利用最適化推進委員登用促進に向けた各市町村農業委員会への呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が一人も登用されていない農業委員会を解消し、複数登用および更なる登用促進に向けて、各種研修会等の場を活用し、他府県の女性活躍の事例を踏まえ、各市町村農業委員会に対して推薦の働きかけや登用促進のための積極的な取組を依頼した。 <p>★平成30年度東海・近畿ブロック女性農業委員・推進委員研修会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海・近畿各府県の農業会議等が主催する女性農業委員・農地利用最適化推進委員を対象とした標記研修会へ、県内の女性と共に参画した。 <p>★全国農業新聞近畿版での女性経営者の優良事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人全国農業会議所が発行する全国農業新聞の近畿版において、優良な女性経営者の事例を掲載し、農業分野での女性の活躍推進について啓発した。

取組団体名	取組事例
わかやま楽落会	<p>★男女共生落語練習会 毎月第1金曜日 19:00~21:00 20人参加</p> <p>★男女共生講座開催 2月 男性の整理収納講座</p>
特定非営利活動法人 和歌山eかんばんにい	<p>★男女共同参画推進に関わる広報、啓発活動事業（平成30年4/1~平成31年3/31）：「和歌山県男女共同参画センターりいぶる一部委託事業」受託</p> <p>★男女共同参画推進に資する人材育成事業 【1日目：3/3】10:00~15:00（2コマ） 【2日目：3/17】10:00~15:30（2コマ） エンパワー・エンカレッジ研修会「アサーティブコミュニケーションを身につけよう♪~言いたいことをガマンしない心地よい関係づくり~」 講師：谷水美香さん（参加者：43人）</p> <p>★人権尊重意識の更なる醸成にかかわる事業： ・「伝統の技と心をつないで ひと雫に懸ける女性杜氏の想い」（6/10） 講師：藤田杜氏（参加者：30名） ・りいぶる『みんなに男女共同参画』提案事業（2/17） 「ころばぬ先のパートナーシップ~定年後のより良い関係のために」 講師：石蔵文信さん（参加者：26名） ・ニュースレター発行【年1回（1回200部）】</p>
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO	<p>★パパの子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てパパの集まり（イクメンPaPaの会）の会議を月1回定期的 に開催、パパ主催の企画を立案したり、子供たちの遊びの企画の時に、 主体的にかかわりを持てるように準備したり「遊び」を通じて子育て に積極的にかかわる父親を増やす活動を継続して行っている。 パパ同士のつながりが深まっている。新しいメンバーの獲得を目指 し、取り組んでいる。 ・きのくに子どもNPO主催の様々な行事へスタッフとして積極的に取 り組み、「凧揚げ大会」などでコマ、ベーゴマを中心に遊びのリーダ ーとして活躍している。ソフトバレーボール大会や外遊びを通じて次 世代の親になる若い青年・中高生ともつながり、世代間交流を積極的 に行っている。 ・自主企画として、海あそび・水鉄砲大会（9月）、雪遊び（2月）を 行った。自然に親しみながら、ダイナミックに遊ぶ機会となっている。 <p>★「子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす」支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きのくに子どもNPO会員と地域の有志（大学教員、学生ボランティ ア、調理ボランティア）の方が協力して、「子どもの生活支援ネット ワーク こ・はうす」を設立。特に地域で孤立しがちな「母子家庭・ 父子家庭」の支援を行っている。 ・30年度も引き続き、週1回（木曜日）の「無料学習支援とみんなでは んごはん」を食べる居場所「こ・はうす」と、月2回火曜日に「こ むすび塾」を開催。「こ・はうす」とは違う地域での開設により、近 くの居場所へ通う環境ができ、より多くの子供に利用が広がった。 ・利用している家族の保護者からの子育てや、学校の対応について等の 相談にも応じている。 ・引き続き、幅広く地域に支援を呼びかけ、行政にも施策の必要性を働 きかけている。 <p>★地域子育て支援拠点事業 「ほっとルームぐるんぱ」の開設。（和歌山 市委託事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進。 ・子育てコーディネーターによる子育て相談・援助の実施。地域の子育

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)</p>	<p>て関連情報の提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 ・ぐるんぱのママの会「ほっとちゃん」。ぐるんぱに来ているママたちがぐるんぱを親たち自分自身の居心地の良い場所にしていけるよう自主的な活動を行っている。その中で、育児だけでなくママ達が抱える様々な問題について、話し合いを持ち社会と関わるきっかけとなっている。 ママ・パパの投稿による「TWEET」発行。ぐるんぱママ講師による「小さな手づくりの会」など、子育て中のママをエンパワメントするための事業。 ・わらべうた、かみしばい、遊びの会、舞台鑑賞などにより、子供が豊かに育つために「大事なこと」を具体的に若い世代に伝えている。 ・そと遊び、水遊びを取り入れ、五感を使って自由に遊ぶ楽しさや気持ちよさを体感できるよう取り組んでいる。ネットやスマホ環境から離れて、自然の生き物との出会いや遊ぶことの大切さをママ自身にも感じてもらえるよう折に触れて伝えている。 <p>★「ぐるんぱメール 第16号」発行 「どう見られてる？どう思われている？あなたがとらわれているものは何？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の母親が編集委員になり、テーマ設定から取材、原稿執筆、編集まですべてを行う情報紙「ぐるんぱメール」を発行。 ・30年度は「どう見られてる？どう思われている？あなたがとらわれているものは何？」と題して、ジェンダーのことを深く掘り下げて考えた内容となっている。子育て中の親が「ママなのに」とか「良いママでなくては」または、「男なのだから」という根強い考えにとらわれていることが「息苦しさ」につながっているのではないかと、自分らしく生きるとはということかについて議論し、「専業主夫」になった人や「夫婦別姓」を選択した人、トランスジェンダーの人などに取材し、まとめている。編集委員になった人それぞれが、自分を振り返って考えたり、違う考え方に会って「気づき」があったり、夫婦間で改めて話し合うきっかけとなったりと、「ぐるんぱメール」を作成する過程で一人一人がエンパワメントされ、関わり合うことで子育てする仲間としてのつながりが強まっている。 <p>★和歌山市ファミリー・サポート・センター(和歌山市委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てを援助してほしい人と子育てをサポートしたい人をコーディネートし、地域で安心して子育てできるようサポートする会員組織の運営。(平成31年3月末、全会員数 1,572人) ・病児・緊急対応強化事業 子供の病時病後時の保育に対応している。 ・ファミリー・サポート・センターは一時保育をコーディネートする役割だけでなく、子育て家庭のセーフティネットとしての役割が大きくなっている。地域での相互援助活動の枠に入りきらない継続的援助、専門的な援助が必要なケースが増えている。行政機関や民間の支援施設等と連絡を取りながら可能な支援情報を提供するなどして、相談を受けている。 ・講習会の開催(年3回)。会員登録(スタッフ会員・提供会員・両方会員)を希望する市民に対し、子育て支援の意義や役割を理解し、具体的スキルを学ぶ講座(24時間)を実施。サポートする会員の増加に努めている。講座は、子育て中の母親の受講も増えており、受講をきっかけに仕事や社会的活動を始める人もいて、母親のエンパワメントにつながっている。

取組団体名	取組事例
<p>特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 交流会 サポートする会員のスキルアップのため、交流会を実施。普段顔を合わせることの少ない「スタッフ会員」「提供会員」が活動内容について気になることを話したり、意見交換する機会を作っている。 • 学習会 子育て中の方とそれを支援したい方がよりよい子育て環境を作っていけるよう、また広く市民にファミサポを知ってもらうために講演会「子どもを真ん中に、支え合う地域づくりをめざして」を開催(講師：浜田進士さん、あらんの家所長)。子どもの権利条約を基本において、子供を一人の人格として認め、「子供にはチカラがある」から、その力を発揮できるようにするために大人がするべきことについて話を聞いた。「支援」について深く考える内容であった。 • 地域交流会 地域にファミサポを広め、会員同士交流できる場として「ファミサポキャラバン」を6回開催。ファミリー・サポート・センターを知ってもらい、身近に感じてもらうきっかけにもなっている。 • 「広報誌」、「会員交流紙」、インターネットでの発信等ファミリー・サポート・センターをより多くの人に知ってもらうための広報活動を行っている。 ★ベビーシッター「きのくにっこ」「きのくにっこ mini」 <ul style="list-style-type: none"> • 小さい子供を持つ家庭を支援するために、必要に応じて一時的保育を提供している。 • 母親、女性対象の講座や勉強会、演奏会などの時の一時保育(グループシッター)を受けている。 ★「養育支援訪問事業・家事援助業務」(和歌山市)「和歌山市母子家庭及び寡婦、父子家庭生活支援員派遣事業委託」を受託。支援が必要な子育て家庭に対して、支援員を派遣し、行政との協力の下に子育て家庭を支えている。 ★児童発達支援 親と子の広場・アン、ポコ <ul style="list-style-type: none"> • 子供の成長・発達に不安のある乳幼児を対象に、リズム遊びお絵かき、外遊びや散歩など遊びを楽しみながら五感(見る・聞く・触れる・におう・味わう)を刺激し、丈夫な体作りと豊かな発達を保障することを目的に活動している。保護者同士がつながりあえるよう親の会、学習会を行っている。併行通所もおこなっている。 • 保護者で実行委員会をつくり、遠足や製作、ごっこあそびなどの行事を行っている。自分たちがしたい事、子供が楽しめることなどそれぞれが考え、会議を重ねている。みんなで作り上げたことで達成感を感じ、自信となり、エンパワメントにつながっている。 障害者支援課など行政との話し合いの場にも、保護者が積極的に関わっている。 ★子供の居場所「チャティーもあ」 <ul style="list-style-type: none"> • 毎週土曜日に子供の居場所を開催。絵本の読み聞かせ、読書活動、アート制作、外遊びと様々な活動を行っている。土曜日仕事している家庭の子供の「学童保育」としての役割も持っている。子供たちは話し合いをしてやりたいことを決め、実行している。集団での活動が子供たちの自主性や協調性を育てている。プレーリーダーが丁寧にかかわることで、お互いに違いを認め合い、尊重し合うことができるような集団となることをめざして活動している。 ★長期休暇学童保育事業 「あみはうす」 <ul style="list-style-type: none"> • 春・夏休みに家で留守番している子供対象に、長期休暇にしかできない遊びや集団での遊びを体験し、仲間づくりができるような学童保育

取組団体名	取組事例
特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO (つづき)	を実施。仕事で一日家を空けている保護者が安心して子供を預けられる場を提供した。 ★子供に関わる人たちの学習交流、人材育成 「幼児」、「小学生」、「中高生」と子供の年齢別の親の会を開催。 ・小学生を持つ親の会「子どもが自分で考える力をつけるには？」 (6月、講師：蜂谷美帆教諭) また、和歌山市保健所の研修の講座「エイズ・性感染症予防授業で伝える命の大切さ」に参加し、家庭でも「性」の問題を取り上げていくことの大切さを学んだ。 ・幼児をもつ親の会(6月、2月開催 講師：大野久美子さん)
特定非営利活動法人 WAC わかやま	★三世代交流の会 会場を借りて、普段から皆で集まって練習しているもの(二胡、朗読など)を披露し、楽しい時間を過ごしました。 ★子育て広場において、祖父母、両親、子供の三世代が男女に関わらず交流できる場所を提供しています。特にパパの参加が増えています。
特定非営利活動法人 のびのびキッズ海南	★学童保育室 7カ所で実施(海南市受託事業) ★漆器まつり出店により参加(11月4日) 千本引き、ピンボール、ストラップ・ヨーヨーつり ★市から依頼された一時保育事業 ・1日:子供5人
一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟	★自然体験、国際交流、ボランティア体験などを通じて、考える力、行動する勇氣、協調性、相手を思いやる心・判断力等を養い将来にあらゆる状況の時も、自分で判断し、自他の幸福を願って行動できる女性の育成。 ・年代別のキャンプの実施(野外の技術習得、災害時に役立つ救急法や調理の実習) ・「ダメ・ゼッタイ」薬物乱用防止普及活動と街頭キャンペーン参加 ・全国一斉イベント(ガールスカウトの日)の実施し、少女がガールスカウトを通じて、仲間と協力して楽しみながら行うプログラムを通じて、「生きる力」が身に着くことを伝えた。 ・コミュニティアクションチャレンジ100に参加。60周年の記念事業としてコミュニティに変化をもたらすプロジェクトに各地域で取り組んでいる。 ★stop the violence キャンペーンに取り組む。これは2011年より世界のガールスカウトが「少女に対する暴力をなくすグローバルアドボカシーキャンペーン」のこと。このキャンペーンで強調したいのは、少女を助けるだけでなく、少女が力をつけること。 ・日本連盟の「みんなで作る差別と暴力のない世界」をテーマとしてキャンプに高校生を派遣し、その後ジェンダーによる差別と暴力について活動を継続している。 ・近畿地区の中学生が集まり「女の子が作る暴力のない世界」の話し合い事業を開催した。 ★free being me 日本語訳では「大好きな私」キャンペーンに取り組んだ。これはガールスカウトの世界連盟とダブ(スキンケアの世界的なブランド)との協働プログラムのこと。 容姿に自信が持てずにいろいろなことにチャレンジできない少女が多いことを受け、自分の長所に自信を持つようなカリキュラムがあるプログラムに取り組んだ。 ・そのプログラムを指導できる指導者の育成、スキルアップのための研修会を実施。 ・「自分の長所に自信を持とう」をテーマにした日本連盟のキャンプへ高校生を派遣し、メディアによる作られたイメージで自分に自信が持

■ 第4章 県民の皆さんの取組状況 ■

取組団体名	取組事例
<p>公益社団法人 和歌山県看護協会</p>	<p>てないことをなくしたいと活動を継続している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★看護職員の定着促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ナース相談窓口 土、日、祝日を除く毎日 看護研修センター 1,853件 ・ナースお仕事相談 月4回 ハローワーク和歌山・田辺 実施回数47回、延べ来所者40名 ★「看護の心」普及事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・看護の日記念事業(5月6日) 講演、健康チェック、白衣体験 延べ76名 ・1日ふれあい看護体験(7月～8月) 県内高校生463名 県内病院・訪問看護ステーション54施設 ・看護の日・1日まちの保健室 県内8か所で健康チェック1,097名 ★介護・福祉施設への出前授業 <ul style="list-style-type: none"> ・県内6か所で実施 高齢者施設で看護職の交流会 ★潜在看護職復職支援研修 <ul style="list-style-type: none"> ・講義・技術演習・病院実習・訪問看護ステーション実習 6日コース 15名(9名再就業) ★再就業促進研修・交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・看護職参加者16名 参加求人施設9施設 就業者13名 臨時雇用2名 ・採血技術演習 月2回 19回開催 24名参加(20名就業) ・復職支援コーディネーターとしてナースのお仕事相談 23名 ★看護職のワークライフバランス推進ワークショップ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・WLB推進ワークショップ(9月20日) 看護研修センター(35名参加) ・WLBフォローアップワークショップ(1月18日) 看護研修センター(39名参加) ★思春期教育として出前授業 <ul style="list-style-type: none"> ・助産師による思春期保健指導 高積中学校(151名参加) ★地域保健啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちの保健室」事業の実施 延べ119名参加 ・向陽高校にて健康チェック、看護のお仕事相談 71名 ・和歌山信愛女子短期大学にて健康チェック 131名 ・和歌山刑務所矯正展にて健康チェック 88名 ★禁煙対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙フォーラム2018、全国禁煙アドバイザー育成講習 in 和歌山に参加
<p>一般社団法人 和歌山県助産師会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★子育て・女性健康支援センター事業として 電話相談 思春期講座実施 協力助産所として、電話相談、来所相談、訪問相談、メール相談 ★和歌山県下の保健所と協働して 乳幼児健康診査 両親教室 孫育て教室 妊婦訪問、産婦訪問、新生児訪問、未熟児訪問、赤ちゃん訪問 ★育児相談の実施として 紀北地区(毎月第3土曜日) 紀中地区(毎月第2金曜日) 紀南地区(毎月第2土曜日) ★県主催の人権フェスタに「いいお産の日のイベント」として参加

取組団体名	取組事例
和歌山県生活研究グループ連絡協議会	<p>★女性農業者の積極的な経営参画に向け、各地域でリーダー研修会や経営研究会等を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工技術向上研修会の開催 ・女性起業者の経営能力向上研修会等の開催 <p>★機関紙の発行（年1回）</p> <p>★女性・高齢者グループ等の活動評価とPRのため、講演会等への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「むらとくらしを考える会議」 講演及び活動事例報告他 参加者 約150名
和歌山県母と子の健康づくり運動協議会	<p>★母子保健指導者研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期の家庭への地域に根ざした支援に向けて、積極的に取り組むことができるボランティア（母子保健推進員）のスキルアップを図るために研修会を開催し、263名の参加があった。 ・講演「母と子に贈る歯と口の健康づくり～歯っぴースマイルはマイナス1歳から～」 <p>★母子保健・健全育成住民会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業を活発に推進し、保健師・保育士・母子保健推進員など子育てを支援する職種や子育て中の一般住民等の参加による大会を開催し、284名の参加があった。 ・展示パネルによる地域の母子保健推進員活動の紹介 ・地域での子育て支援の活動及び実践報告 「橋本市家庭教育支援チーム ヘスティアの取組みについて」 ・講演「産後のメンタルヘルスの理解と支援」 <p>★各支部（振興局単位）における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に関する研修会 ・親子教室等の開催 ・家庭訪問等の活動時に子育て支援や子供の病気、事故予防に関する啓発リーフレット等を配布
和歌山県婦人団体連絡協議会	<p>★子ども・地域・ふれあい事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代に安心を送ることを目的に、地域で子供を育て、護る。サポートする会員自身が活動を通して、豊かな心を育む機会と場を提供しながら様々な活動に取り組んだ。（和歌山市広瀬地区婦人会） <p>★人権を考えるつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題について正しい認識をもち、私たちの日々の暮らしの中で起こる様々な問題について、女性の視点に立って考え、学び、地域の実状に即した人権学習の推進をはかるとして開催。弁護士の角田龍平氏による「暮らしの安心・安全を守るために知っておくべき法律知識」と題しての講演で、美浜町地域福祉センターに約100名が参加した。 <p>★リーダー研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の推進と地域社会における様々な課題について、認識を深め、ともに学び、ともに語り合う。さらに地域婦人会としての時代に対応した活動の見直しにより自立的な組織をめざすことを目的に、和歌山ビッグ愛に会員90名が参加し、講演、子ども・地域・ふれあい事業の発表、各種事業への参加報告等を行った。
和歌山県母子寡婦福祉連合会	<p>★男女共同参画週間中に啓発活動を行った。 大型スーパーでウェットティッシュ・ボールペンを配付した。</p> <p>★人権と合同で研修大会を開催した。 約400名参加（橋本市）</p> <p>★県の総会で出前講座をお願いし勉強した。 約100名参加</p>